

シリーズ⑨ 地域の目



株式会社かりゆしエンターテイメント
代表取締役社長

長嶺 栄子
(ながみね えいこ)

また、米軍基地のフードマーケットで働くフリーランの女性は、早速ハイタッチへの参加のために、昼休みを利用して毎日近くの公民館で猛練習を始めたとメールで知らせてくれた。

して嬉しく思つた。
イベントが終わつて樂屋を訪ねると
それぞれの国の方々が入り混じつて
写真を撮つたり、握手を交わしたり
それから仕舞いにはみんなで力チャ一
シーを踊つて喜びを確認しあつていた

イベント当日、会場には4000人のお客様が詰めかけ、予想以上の関心の高さに驚かされた。そして各の出演者の「家族を始め」「親戚や地域の方々が大勢かけつけてくれた」と、このイベントが多くの人々の心を結んでくれているような気が

イベントに協力をお願いしたどの国の方々も沖縄への思いを熱く語ってくれ、多忙な時間を何とかやりくりして、音楽や舞踊の練習、衣装の準備から選曲や振り付け、それから打ち合わせに必ず参加してくれた

とのことである。沖縄は嫁いで7年、沖縄の自然の美しさに魅せられ、韓国人の友人たちに事あるごとに、「沖縄は天国よ」と話したらしく。そんなこともあって、帰郷したら、天国から帰ってきた人」と言われ、大笑いしたそうだ。

うのことを知らないもどかしさを悔しそうに話してくれた。

リピン出身の方々を集めて、踊りの練習を始めたとのことだった。そして彼女は、沖縄で生まれ育った娘に祖国フリーリピンの魅力を十分に伝える

国際交流は足元にあり、私たちの日常から始まる、どこか「思い」を強くしながら、沖縄に在住するアジアの人々と文化芸能などの具体的な交流をもう少し多く「行う」ことで、まずは出会いのきっかけにしたいと思う。そのことが、ひいては沖縄に在住する世界中の国々の人たちとのネットワークづくりにもなり、やがてそこに集う一人ひとりが民間親善大使として羽ばたいて行くことで、沖縄が名実共に光輝く世界の架け橋となること、希望を託したい。

原点は人と人の心と心のふれあいであり、それぞれの文化に素直に共感する感性を共有することのような気がしてならない。

光輝とは人それぞれ色々あると思ってた
その国のその地域の一番光輝いてる
光輝くことなんだと私は勝手に解
釈してます。そして、国際交流もその

だらり、観光でじいこのことなんた
れ、と改めて教えたわきかけを
ついでくれた。よく観光は読んで字
のじと「光を観る」といだ」とい
光はんじにじいのじからいづるが

訊いてきた。その一言で、私は胸が熱くなり、本当にこのイベントをやつしてよかったと思った。

まさに、楽屋で小さな国際交流が始
また瞬間だった。

目指して



「アジアの架け橋を